

» ファンドの目的

このアクティブ運用の上場投資信託（ETF）は、インカム収益の獲得を第一としてキャピタルゲインも追求します。

» ファンド概要

ファンドティッカー	FTHI
ISIN	US33738R3084
CUSIP	33738R308
iNAVティッカー	FTHIIV
ファンド設定日	2014/01/06
総経費率	0.76%
30日SEC利回り [†]	0.70%
主要取引所	Nasdaq

» ファンド詳細

- 当ファンドは、株式ポートフォリオと指数オプション戦略を組み合わせることにより、投資目的を追求します。
 - 主にあらゆる時価総額の米国株式に投資し、高配当の普通株式を 선호します。
 - オプション戦略も活用し、S&P500指数に対する米国上場投資信託（ETF）のカバード・コール・オプションの売りを行い、オプションのプレミアムという形で追加のキャッシュフローを生み出し、毎月投資家に分配します。プレミアムとはオプション契約の売却者が売却相手から受け取る収入です。
- 投資プロセスでは、アドバイザーは戦術的で透明性の高いポートフォリオを通じてリターンを最大化を目指します。
 - アドバイザーは、時価総額を問わず米国取引所上場のすべての普通株式、米国預託証券、グローバル預託証券の中から銘柄を選択します。
 - その後、アドバイザーは、時価総額、流動性、営業キャッシュフロー、配当利回り、自社株買い、および負債発行要因の制約といった要素を使用し数学的最適化を図り、高配当の普通株式を優先するポートフォリオを作成します。
 - アドバイザーは、カバード・コール戦略を適用することで、追加収益を生み出し、短期的なボラティリティにに対し、影響を一定程度防ぎます。
 - 株式ポートフォリオは、投資チームの裁量で定期的によりバランスされます。オプション・ポートフォリオは、原ポートフォリオおよび市場の状況や機会を反映して積極的に運用されます。

» ファンド・アドバイザー

- First Trust Advisors L.P.はファンドのアドバイザーであり、ポートフォリオを管理しています。
- 日々の投資判断は以下のポートフォリオ・マネージャーによって行います。
 - ジョン・ガンブラ、CFA、FRM、PRM、シニア・ポートフォリオ・マネージャー、オルタナティブ投資チーム
 - ロブ A. グットショー、CFA、シニア・ポートフォリオ・マネージャー、オルタナティブ投資チーム

» パフォーマンス概要(%)

	3ヶ月	年初来	1年	3年	5年	10年	設定来
ファンド・パフォーマンス*							
基準価額(NAV)	7.00	2.87	11.44	14.35	11.38	7.41	7.23
市場価格	6.90	2.78	11.24	14.26	11.40	7.39	7.22
指数パフォーマンス**							
CBOE S&P 500® BuyWrite Monthly Index	1.90	-1.25	10.25	9.39	10.16	6.42	6.42
S&P 500® Index	10.94	6.20	15.16	19.71	16.64	13.65	13.28

» 年次トータルリターン(%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	YTD
FTHI	2.14	12.19	13.92	-9.12	17.45	-6.54	13.28	-3.90	19.98	18.98	2.87
CBOE S&P 500® BuyWrite Monthly Index	5.24	7.07	13.00	-4.77	15.68	-2.75	20.47	-11.37	11.81	20.13	-1.25
S&P 500® Index	1.38	11.96	21.83	-4.38	31.49	18.40	28.71	-18.11	26.29	25.02	6.20

» 3年間の統計

	標準偏差(%)	アルファ	ベータ	シャープレシオ	相関関係
FTHI	11.56	-0.94	0.71	0.83	0.97
CBOE S&P 500® BuyWrite Monthly Index	15.80	—	1.00	0.94	1.00

引用されているパフォーマンスデータは過去のものであります。過去の運用実績は将来の運用実績を保証するものではなく、現在の運用実績が提示された運用実績よりも高い場合も低い場合もあります。投資収益と元本価値は変動するものであり、株式が売却または償還された場合、当初のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。直近の月末までのパフォーマンス情報は www.ftportfolios.jp から確認できます。

[†] 30日SEC利回りは、直近の30日間に獲得した1株当たりの純投資利益を、期末日の1株当たりの最大公開価格で割って算出されます。

*基準価額（NAV）リターンは、ファンドの純資産（資産から負債を差し引いたもの）をファンドの発行済み株数で割った基準価額（NAV）に基づいています。市場価格リターンはファンドの基準価額（NAV）リターンが算出された時点の全米最良気配値「NBBO」の中間値を使用して決定されます。リターンは1年未満の期間を除き、平均年間トータルリターンです。
**掲載されている各指数のパフォーマンス情報は、例示のみを目的としており、実際のファンドのパフォーマンスを表すものではありません。指数のパフォーマンスは運用手数料や仲介費用がかからず、表示されたパフォーマンスから、そのような手数料や費用は差し引かれていません。指数は運用されていないため、投資家は指数に直接投資することはできません。

ファーストラスト バイライтинカム ETF

2025/6/30

» ポートフォリオ情報¹

保有銘柄数	222
最大時価総額	\$3,854.96 Billion
時価総額中央値	\$49.84 Billion
最小時価総額	\$1.20 Billion
株価収益率	26.82
株価純資産倍率	4.81
株価キャッシュフロー倍率	19.86
株価売上高倍率	3.70

» ポートフォリオ・オプション情報

コールの平均残存期間	23 日
平均コール・マネーネス(ITM) ²	5.23%
オプション・オーバーライト比率 ³	71.50%

投資を行う前に、ファンドの投資目的、リスク、手数料と費用を慎重に検討する必要があります。ファンドに関する情報やその他の情報が記載されている目論見書入手するには、**First Trust Japan (www.ftportfolios.jp)** にお問い合わせください。目論見書は、投資を行う前によくお読み下さい。

リスクに関する考慮事項

ファンドへの投資において、損失が発生する可能性があります。ファンドへの投資は銀行預貯金ではなく保険や保証はありません。ファンドの目的が達成される保証はありません。投資家が流通市場で株式を売買する場合、通常の仲介手数料がかかる場合があります。ファンドのリスクに関する詳細については、各ファンドの目論見書をご確認ください。以下のリスク要因の順序は、特定のリスク要因の重要性の順位を示すものではありません。

投資信託とは異なり、ファンドの株式は、許可された参加者のみが非常に大規模な設定/償還単位でファンドから直接償還できます。ファンドの権限を与えられた参加者が設定/償還注文を進めることができます、他の参加者が設定または償還に踏み切らない場合、ファンドの株式はファンドの基準価額に対してプレミアムまたは割引で取引され、上場廃止に直面し、ビッド/アスクスプレッドが拡大する可能性があります。

ファンドによるコールオプションの使用には、通常のポートフォリオ証券取引とは異なるリスクが伴い、ファンドのポートフォリオマネージャーが市場の動きを正しく予測する能力に依存します。コールオプションの売り手（ライター）として、参照指数または証券の価値が行使価格を上回った場合、損失を被る傾向があります。コールオプションを売却するとき、ファンドはオプション保有者によるオプションの行使を制御することはできず、ファンドが販売するアメリカンスタイルのオプションは、オプションの満期日前にいつでも行使することができます（満期日にのみ行使できるヨーロッパスタイルのオプションとは対照的です）。ファンドがオプションを決済するために証券を売却する必要がある場合があり、それは資本のリターンを構成し、ファンドを他のETFよりも税効率が悪くなる可能性があります。また、オプションにはレバレッジの使用が含まれる場合があり、その結果、他の市場よりも価格の変動が大きくなる可能性があります。

ファンドは、カウンターパーティがその義務を履行しないリスクにさらされる可能性があり、その結果、ファンドに重大な経済的損失が生じる可能性があります。

現在の市況リスクとは、特定の投資、またはファンドの株式全般が、現在の市況により価値が下落するリスクです。例えば、政府の財政政策や規制政策の変更、銀行や不動産市場の混迷、実際の国際的武力紛争や敵対行為の脅威、公共衛生上の危機など、他の重要な出来事やファンドの投資価値に重大な影響を与える可能性があります。

ファンドは、サイバーセキュリティの侵害による運用リスクの影響を受けやすいです。このような事象により、ファンドが規制上の罰則、風評被害、是正措置に伴う追加のコンプライアンス費用、および/または財務上の損失を被る可能性があります。

預託証券は、主要な取引市場における原資産株式よりも流動性が低く、分配金は手数料がかかる場合があります。保有者は議決権が限られている場合があり、特定の国における投資制限がその価値に悪影響を及ぼす可能性があります。

デリバティブ商品の使用には、カウンターパーティリスク、バリュエーションリスク、ボラティリティリスク、流動性リスクなど、証券に直接投資するリスクとは異なる、場合によってはより大きなリスクが伴います。さらに、原資産の価格または価値、指数またはレートの不利な動きによる損失は、デリバティブの特定の特徴によって拡大される場合があります。

配当金支払証券を発行する会社は、その証券の配当金を継続して支払う必要はありません。そのため、そのような企業が将来、配当金の支払いを減額または廃止する可能性があります。

株式証券は、短期間または長期間にわたって価格が大幅に下落する可能性があり、そのような下落は株式市場全体で発生する場合もあれば、特定の国、企業、業界、または市場のセクターのみで発生する場合もあります。

ファンドは、ファンドの取引活動、規模、変動に大きな影響を与える可能性のある1つ以上の指数またはモデルの構成銘柄となる場合があります。

インフレが進行すると、ファンドの資産と分配金の現在価値が低下する

» 上位保有10銘柄(%)

Microsoft Corporation	7.14
NVIDIA Corporation	6.71
Apple, Inc.	5.59
Amazon.com, Inc.	3.34
Meta Platforms Inc.	3.21
Broadcom Inc.	2.61
Alphabet, Inc.	1.76
JPMorgan Chase & Co.	1.61
Alphabet Inc. (Class C)	1.39
CME Group Inc.	1.25

¹ポートフォリオ情報の統計には、現金およびオプションがは含まれていません。

²マネーネスとは、オプションの行使価格に対するイン・ザ・マネー（ITM）またはアウト・オブ・ザ・マネー（OTM）の割合を、オプション契約の原資産価格に対する相対的な位置を表したものです。

³オプション・オーバーライト比率は、各月のコール売却日において、ロングポジションに対するコールオプションの売却に使用される純資産価値の割合です。

可能性があります。

情報技術企業は、急速に変化する技術、短い製品ライフサイクル、激しい競争、厳しい価格設定と利益率の低下、特許、著作権、商標保護の損失、周期的な市場パターン、進化する業界標準と規制、頻繁な新製品の導入など、特定のリスクにさらされています。

大規模な資本企業は、市場全体よりも遅い速度で成長する可能性があります。

ファンド投資の中には、転売、店頭取引や取引量の制限、または活発な取引市場が不足している場合があります。流動性の低い証券は割引価格で取引される場合があり、市場価値の大幅な変動の影響を受ける可能性があります。

アクティブ運用ポートフォリオのポートフォリオマネージャーは、投資手法とリスク分析を適用しますが、これらは望ましい結果をもたらさない可能性があります。

市場リスクとは、特定の証券、またはファンドの株式全般が値下がりするリスクです。証券は、一般的な経済状況、政治情勢、規制または市場の動向、金利の変化、証券価格の動向などの要因によって引き起こされる市場変動の影響を受けます。その結果、ファンドの株式の価値が下落したり、他の投資を下回ったりする可能性があります。さらに、戦争、テロ行為、感染症の蔓延、その他の公衆衛生問題、不況、自然災害、その他の事象など、地域的、地方的、または世界的な出来事は、ファンドに重大な悪影響を与える可能性があります。

ファンドが直面する市場取引リスクには、マーケットメイカーの数が限られているためにファンド株式の活発な市場が欠如している可能性など多くのものがあります。マーケットメーカーや公認参加者が市場ストレス時に役割の縮小や退去することにより、ファンドのポートフォリオ証券の原資産価格とファンドの市場価格の関係を維持するアービトラージ プロセス、すなわち裁定プロセスの有効性が阻害される可能性があります。

マスター・リミテッド・パートナーシップ（以下「MLP」）は、国際政治、省エネ、税金、価格統制、およびさまざまな政府のその他の規制政策によって引き起こされる価格および供給変動を含むなど、特定のリスクにさらされています。また、MLPが法人として課税される結果として、MLPからのリターンが減少するリスクがあります。

米国以外の証券発行体は、通貨の変動、政治的リスク、源泉徴収、流動性の欠如、適切な財務情報の欠如、米国外に影響を与える為替管理の制限など、追加のリスクにさらされています。

ファンド、およびファンドのアドバイザーは、管理や手続きを通じて様々は運用リスクの低減を図ることがありますが、そのようなリスクから完全に保護することは不可能です。また、ファンドは、カストディを含まないサービスについて第三者に依存しており、これらのサービスに関連する遅延や失敗は、ファンドの目的達成能力に影響を与える可能性があります。

オプションの価格は変動が激しく、オプションの効果的な使用は、ファンドが望ましいと思われる時間にオプションのポジションを終了する能力にかかっています。ファンドが特定の時間または許容可能な価格で取引を終了できないという保証はありません。

ポートフォリオの回転率が高いと、取引コストの水準が高くなり、株主の税負担が大きくなる可能性があります。

ファンドの株式の市場価格は、一般的にファンドの基準価額（NAV）の変化、および取引所での株式の相対的な供給と需要に応じて変動し、ファンドの投資アドバイザーは、株式がNAVを下回るか、NAVで取引されるか、NAVを上回って取引されるかを予測することはできません。不動産投資信託（以下「REIT」）は、不動産市場の変化、空室率と競争、金利の変動、景気後退など、不動産への投資リスクにさらされます。金利の上昇は、通常、REITの将来の収益源の現在価値を低下させ、不動産の購入や修繕の資金調達をより高くする可能性があります。REIT株の投資家が金利上昇を予想、または経験した場合、ファンドの価値は一般的に低下します。

単一の資産クラス、国、地域、業界、セクターへのエクスポージャーが大

» 業種別内訳(%)

Information Technology	33.22
Financials	14.65
Communication Services	9.88
Consumer Staples	9.75
Consumer Discretionary	9.44
Health Care	8.17
Industrials	7.99
Utilities	2.57
Real Estate	2.26
Energy	2.17
Materials	2.15
Other	-2.25

きいファンドは、広く分散されたファンドよりも、経済的または政治的な不利な事象の影響をより受ける可能性があります。

中小資本企業の証券は、より大規模で確立された企業よりも価格の変動が大きく、流動性が低下する可能性があります。

ファンドが課税年度のRICとして適格ではなく、特定の救済規定が利用できなかった場合、ファンドの課税所得はファンドレベルで課税され、そのような所得が分配されるときに株主レベルでさらに課税されます。さらに、ファンドへの投資の種類に基づいて、ファンドに他の税務上の影響がある場合があります。

取引所での取引は、市場の状況やその他の理由により停止される場合があります。ファンドが取引所上場を維持するための要件が今後も引き続き満たされ変わらないという保証はありません。

ファンドが保有する証券やその他の資産は、市場相場以外の要素に基づいて評価される可能性が保有する証券やその他の資産があります。これは、資産または証券が中央集権的な取引所で取引されないため、または市場の混乱や流動性の低下時に発生する可能性があります。また、「公正評価」資産や有価証券など、市場相場以外の手法を使用して評価されたポートフォリオ保有は、市場相場が使用された場合よりも、日によって評価に大きな変動が生じる可能性があります。ファンドがいつでも設定された価値で売却、またはポートフォリオポジションをクローズできるという保証はありません。

First Trust Advisors L.P.は、当ファンドのアドバイザーです。First Trust Advisors L.P.は、当ファンドの販売代理店であるFirst Trust Portfolios L.P.の関連会社です。ファーストラスト・ジャパンは、当ファンドの副販売会社です。

記載されている情報は、特定の人物に対する投資の推奨や助言を意図するものではありません。また、本資料は暗黙的または明示的に投資戦略を推奨または示唆するものではありません。読者に投資戦略に関する決断を下したり、ファンドの現在または将来の価値や価格に関する意見を提供したりするのはありません。ファーストラストは、投資家に関する知識はなく、いかなる情報も提供されていません。金融専門家は、特定の投資が顧客に適しているかどうかを判断する必要があります。

定義

標準偏差は、価格変動性（リスク）の尺度です。アルファは、投資がベンチマークと比較してリスク調整済みベースでどれだけアウトパフォームまたはアンダーパフォームするかを示す指標です。ベータは、市場に対する価格変動の尺度です。シャープレシオは、ボラティリティの単位あたりの超過報酬の尺度です。相関関係は、パフォーマンスの類似性の尺度です。CBOE S&P 500® BuyWrite Indexは、S&P500指数の仮想的なバイライツ戦略のパフォーマンスを追跡するように設計されたベンチマーク指数です。これは、S&P 500指数に連動するポートフォリオを保有しながら、期近のS&P 500指数のカバード・コール・オプションを売却することに基づくバッシュ・トータル・リターン指数です。S&P 500® 指数は、米国株式市場の大型株のパフォーマンスを測定するために使用される500社から構成される非管理指数です。

>> Fund Objective

This actively managed exchange-traded fund seeks to provide current income, with a secondary investment objective of capital appreciation.

>> Fund Facts

Fund Ticker	FTHI
ISIN	US33738R3084
CUSIP	33738R308
Intraday NAV	FTHIIV
Fund Inception Date	6/1/14
Total Expense Ratio	0.76%
30-Day SEC Yield†	0.70%
Primary Listing	Nasdaq

>> Fund Description

- >> The First Trust BuyWrite Income ETF seeks to pursue its investment objectives by combining a stock portfolio with an index option strategy.
 - The fund will invest primarily in U.S. equity securities of all market capitalizations, favoring high dividend-paying common stocks.
 - The fund will also utilize an options strategy in which it will write (sell) U.S. exchange-traded covered call options on the S&P 500 Index seeking to generate additional cash flow in the form of premiums on the options that may be distributed to shareholders on a monthly basis. A premium is the income received by an investor who sells the option contract to another party.
- >> Through the investment process, the advisor seeks to maximize returns through a portfolio that is tactical and transparent.
 - The Advisor selects the equity portion from a universe of U.S. exchange-listed common stocks of all market capitalizations, American Depositary Receipts and Global Depositary Receipts.
 - The Advisor will then apply a mathematical optimization process which uses market capitalization, liquidity, operating cash flow, dividend yield, share repurchases, and debt issuance factor constraints which attempts to favor higher dividend paying common stocks for the fund's portfolio.
 - The Advisor will apply a covered call strategy to potentially generate additional income and provide a degree of protection against short-term volatility.
 - The equity portfolio will be rebalanced periodically at the discretion of the investment team. The option portfolio will be actively managed reflecting the underlying portfolio and market conditions and opportunities.

>> Fund Advisor

- >> First Trust Advisors L.P. is the advisor to the fund and manages the fund's portfolio.
- >> Daily investment decisions are made by:
 - John Gamba, CFA, FRM, PRM, Senior Portfolio Manager, Alternatives Investment Team of First Trust
 - Rob A. Guttschow, CFA, Senior Portfolio Manager, Alternatives Investment Team of First Trust

>> Performance Summary (%)

	3 Month	YTD	1 Year	3 Year	5 Year	10 Year	Since Fund Inception
Fund Performance*							
Net Asset Value (NAV)	7.00	2.87	11.44	14.35	11.38	7.41	7.23
Market Price	6.90	2.78	11.24	14.26	11.40	7.39	7.22
Index Performance**							
CBOE S&P 500® BuyWrite Monthly Index	1.90	-1.25	10.25	9.39	10.16	6.42	6.42
S&P 500® Index	10.94	6.20	15.16	19.71	16.64	13.65	13.28

>> Calendar Year Total Returns (%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	YTD
FTHI	2.14	12.19	13.92	-9.12	17.45	-6.54	13.28	-3.90	19.98	18.98	2.87
CBOE S&P 500® BuyWrite Monthly Index	5.24	7.07	13.00	-4.77	15.68	-2.75	20.47	-11.37	11.81	20.13	-1.25
S&P 500® Index	1.38	11.96	21.83	-4.38	31.49	18.40	28.71	-18.11	26.29	25.02	6.20

>> 3-Year Statistics

	Standard Deviation (%)	Alpha	Beta	Sharpe Ratio	Correlation
FTHI	11.56	-0.94	0.71	0.83	0.97
S&P 500® Index	15.80	—	1.00	0.94	1.00

Performance data quoted represents past performance. Past performance is not a guarantee of future results and current performance may be higher or lower than performance quoted. Investment returns and principal value will fluctuate and shares when sold or redeemed, may be worth more or less than their original cost. You can obtain performance information which is current through the most recent month-end by visiting www.ftportfolios.jp.

†30-day SEC yield is calculated by dividing the net investment income per share earned during the most recent 30-day period by the maximum offering price per share on the last day of the period.

*NAV returns are based on the fund's net asset value which represents the fund's net assets (assets less liabilities) divided by the fund's outstanding shares. Market Price returns are determined by using the midpoint of the national best bid offer price ("NBBO") as of the time that the fund's NAV is calculated. Returns are average annualized total returns, except those for periods of less than one year, which are cumulative.

**Performance information for each listed index is for illustrative purposes only and does not represent actual fund performance. Indexes do not charge management fees or brokerage expenses, and no such fees or expenses were deducted from the performance shown. Indexes are unmanaged and an investor cannot invest directly in an index.

» Portfolio Information¹

Number Of Holdings	222
Maximum Market Cap.	\$3,854.96 Billion
Median Market Cap.	\$49.84 Billion
Minimum Market Cap.	\$1.20 Billion
Price/Earnings	26.82
Price/Book	4.81
Price/Cash Flow	19.86
Price/Sales	3.70

» Portfolio Options Information

Average Time Until Expiration of Calls	23 Days
Average Call Moneyness (OTM) ²	5.23%
Option Overwrite % ³	71.50%

» Top Holdings (%)

Microsoft Corporation	7.14
NVIDIA Corporation	6.71
Apple, Inc.	5.59
Amazon.com, Inc.	3.34
Meta Platforms Inc.	3.21
Broadcom Inc.	2.61
Alphabet, Inc.	1.76
JPMorgan Chase & Co.	1.61
Alphabet Inc. (Class C)	1.39
CME Group Inc.	1.25

» Top Sector Exposure (%)

Information Technology	33.22
Financials	14.65
Communication Services	9.88
Consumer Staples	9.75
Consumer Discretionary	9.44
Health Care	8.17
Industrials	7.99
Utilities	2.57
Real Estate	2.26
Energy	2.17
Materials	2.15
Other	-2.25

¹Portfolio information statistics exclude cash and options.

²Moneyness is how much an option contract's strike price is in-the-money (ITM) or out-of-the-money (OTM) expressed as a percentage of the price of the option contract's underlying asset.

³Option Overwrite % is the percentage of the net asset value used for writing of call options against a long position at each monthly call selling date.

You should consider the fund's investment objectives, risks, and charges and expenses carefully before investing. Contact First Trust Japan at www.ftportfolios.jp to obtain a prospectus which contains this and other information about the fund. The prospectus should be read carefully before investing.

Risk Considerations

You could lose money by investing in a fund. An investment in a fund is not a deposit of a bank and is not insured or guaranteed. There can be no assurance that a fund's objective(s) will be achieved. Investors buying or selling shares on the secondary market may incur customary brokerage commissions. Please refer to each fund's prospectus for additional details on a fund's risks. The order of the below risk factors does not indicate the significance of any particular risk factor.

Unlike mutual funds, shares of the fund may only be redeemed directly from a fund by authorized participants in very large creation/redemption units. If a fund's authorized participants are unable to proceed with creation/redemption orders and no other authorized participant is able to step forward to create or redeem, fund shares may trade at a premium or discount to a fund's net asset value and possibly face delisting and the bid/ask spread may widen.

A fund's use of call options involves risks different from those associated with ordinary portfolio securities transactions and depends on the ability of a fund's portfolio managers to forecast market movements correctly. As the seller (writer) of a call option, a fund will tend to lose money if the value of the reference index or security rises above the strike price. When writing a call option, a fund will have no control over the exercise of the option by the option holder and the American style options sold by a fund may be exercised at any time before the option expiration date (as opposed to the European style options which may be exercised only on the expiration date). There may be times a fund needs to sell securities in order to settle the options, which may constitute a return of capital and make a fund less tax-efficient than other ETFs. Options may also involve the use of leverage, which could result in greater price volatility than other markets.

A fund may be subject to the risk that a counterparty will not fulfill its obligations which may result in significant financial loss to a fund.

Current market conditions risk is the risk that a particular investment, or shares of the fund in general, may fall in value due to current market conditions. For example, changes in governmental fiscal and regulatory policies, disruptions to banking and real estate markets, actual and threatened international armed conflicts and hostilities, and public health crises, among other significant events, could have a material impact on the value of the fund's investments.

A fund is susceptible to operational risks through breaches in cyber security. Such events could cause a fund to incur regulatory penalties, reputational damage, additional compliance costs associated with corrective measures and/or financial loss.

Depository receipts may be less liquid than the underlying shares in their primary trading market and distributions may be subject to a fee. Holders may have limited voting rights, and investment restrictions in certain countries may adversely impact their value.

The use of derivatives instruments involves different and possibly greater risks than investing directly in securities including counterparty risk, valuation risk, volatility risk, and liquidity risk. Further, losses because of adverse movements in the price or value of the underlying asset, index or rate may be magnified by certain features of the derivatives.

A fund normally pays its income as distributions and therefore, a fund may be required to reduce its distributions if it has insufficient income. Additionally at times, a fund may need to sell securities when it would not otherwise do so and could cause distributions from that sale to constitute return of capital. Because of this, a fund may not be an appropriate investment for investors who do not want their principal investment in a fund to decrease over time or who do not wish to receive return of capital in a given period.

Companies that issue dividend-paying securities are not required to continue to pay dividends on such securities. Therefore, there is a possibility that such companies could reduce or eliminate the payment of dividends in the future.

Equity securities may decline significantly in price over short or extended periods of time, and such declines may occur in the equity market as a whole, or they may occur in only a particular country, company, industry or sector of the market.

A fund may be a constituent of one or more indices or models which could greatly affect a fund's trading activity, size and volatility.

As inflation increases, the present value of a fund's assets and distributions may decline.

Information technology companies are subject to certain risks, including rapidly changing technologies, short product life cycles, fierce competition, aggressive pricing and reduced profit margins, loss of patent, copyright and trademark protections, cyclical market patterns, evolving industry standards and regulation and frequent new product introductions.

Large capitalization companies may grow at a slower rate than the overall market.

Certain fund investments may be subject to restrictions on resale, trade over-the-counter or in limited volume, or lack an active trading market. Illiquid securities may trade at a discount and may be subject to wide fluctuations in market value.

The portfolio managers of an actively managed portfolio will apply investment techniques and risk analyses that may not have the desired result.

Market risk is the risk that a particular security, or shares of a fund in general may fall in value. Securities are subject to market fluctuations caused by such factors as general economic conditions, political events, regulatory or market developments, changes in interest rates and perceived trends in securities prices. Shares of a fund could decline in value or underperform other investments as a result. In addition, local, regional or global events such as war, acts of terrorism, spread of infectious disease or other public health issues, recessions, natural disasters or other events could have significant negative impact on a fund.

A fund faces numerous market trading risks, including the potential lack of an active market for fund shares due to a limited number of market makers. Decisions by market makers or authorized participants to reduce their role or step away in times of market stress could inhibit the effectiveness of the arbitrage process in maintaining the relationship between the underlying values of a fund's portfolio securities and a fund's market price.

Master limited partnerships ("MLPs") are subject to certain risks, including price and supply fluctuations caused by international politics, energy conservation, taxes, price controls, and other regulatory policies of various governments. In addition, there is the risk that MLPs could be taxed as corporations, resulting in decreased returns from such MLPs.

Securities of non-U.S. issuers are subject to additional risks, including currency fluctuations, political risks, withholding, lack of liquidity, lack of adequate financial information, and exchange control restrictions impacting non-U.S. issuers.

A fund and a fund's advisor may seek to reduce various operational risks through controls and procedures, but it is not possible to completely protect against such risks. The fund also relies on third parties for a range of services, including custody, and any delay or failure related to those services may affect the fund's ability to meet its objective.

The prices of options are volatile and the effective use of options depends on a fund's ability to terminate option positions at times deemed desirable to do so. There is no assurance that a fund will be able to effect closing transactions at any particular time or at an acceptable price.

A fund's investment in equity securities and written call options are not correlated, meaning the performance is independent of one another. Market events may impact one position held by a fund more than the other position and the returns from a fund's investments in equity securities and written call options may not move in the same direction as one another.

High portfolio turnover may result in higher levels of transaction costs and may generate greater tax liabilities for shareholders.

The market price of a fund's shares will generally fluctuate in accordance with changes in the fund's net asset value ("NAV") as well as the relative supply of and demand for shares on the exchange, and a fund's investment advisor cannot predict whether shares will trade below, at or above their NAV.

Real Estate Investment Trusts ("REITs") are subject to the risks of investing in real estate, including, but not limited to, changes in the real estate market, vacancy rates and competition, volatile interest rates and economic recession. Increases in interest rates typically lower the present value of a REIT's future earnings stream and may make financing property purchases and improvements more costly. The value of a fund will generally decline when investors in REIT stocks anticipate or experience rising interest rates.

A fund with significant exposure to a single asset class, country, region, industry, or sector may be more affected by an adverse economic or political development than a broadly diversified fund.

Securities of small- and mid-capitalization companies may experience greater price volatility and be less liquid than larger, more established companies.

If a fund does not qualify as a RIC for any taxable year and certain relief provisions were not available, a fund's taxable income would be subject to tax at the fund level and to a further tax at the shareholder level when such income is distributed. Further, there may be other tax implications to a fund based on the type of investments in a fund.

Trading on an exchange may be halted due to market conditions or other reasons. There can be no assurance that a fund's requirements to maintain the exchange listing will continue to be met or be unchanged.

A fund may hold securities or other assets that may be valued on the basis of factors other than market quotations. This may occur because the asset or security does not trade on a centralized exchange, or in times of market turmoil or reduced liquidity. Portfolio holdings that are valued using techniques other than market quotations, including "fair valued" assets or securities, may be subject to greater fluctuation in their valuations from one day to the next than if market quotations were used. There is no assurance that a fund could sell or close out a portfolio position for the value established for it at any time.

First Trust Advisors L.P. is the adviser to the fund. First Trust Advisors L.P. is an affiliate of First Trust Portfolios L.P., the fund's distributor. First Trust Japan is the fund's sub-distributor.

The information presented is not intended to constitute an investment recommendation for, or advice to, any specific person. Nor does the document implicitly or explicitly recommend or suggest an investment strategy, reach conclusions in relation to an investment strategy for the reader or provide an opinion as to the present or future value or price of any fund. First Trust has no knowledge of and has not been provided any information regarding any investor. Financial professionals must determine whether particular investments are appropriate for their clients.

Definitions

Standard Deviation is a measure of price variability (risk). **Alpha** is an indication of how much an investment outperforms or underperforms on a risk-adjusted basis relative to its benchmark. **Beta** is a measure of price variability relative to the market. **Sharpe Ratio** is a measure of excess reward per unit of volatility. **Correlation** is a measure of the similarity of performance. The **CBOE S&P 500® BuyWrite Index** is a benchmark index designed to track the performance of a hypothetical buy-write strategy on the S&P 500 Index. It is a passive total return index based on buying an S&P 500 stock index portfolio, and writing (or selling) the near-term S&P 500 Index covered call option. The **S&P 500® Index** is an unmanaged index of 500 companies used to measure large-cap U.S. stock market performance.

ご留意事項

- ◆ 本資料は、ファンドの状況及び関連情報のご提供を目的としており、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ◆ ファンド投資には、運用会社提供資料及び／又は、「P P M（目論見書）」などをご確認の上ご自身の責任のもとご判断ください。
- ◆ 本資料は、運用会社提供資料及び／又は、弊社が作成・編集・和訳をしたもので、正文は運用会社提供資料とします。
- ◆ 本資料のお取扱いは、お客さま／貴社関係者限りとし第三者への配布及び、情報提供者の承諾を得ない二次利用はできません。
- ◆ 本資料は、信頼できると考えられるデータ・情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性及び将来の運用成果等について保証するものではありません。記載内容は予告なく変更されることがあります。
- ◆ 本資料の金融商品は、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動するため、投資元本や利回りが保証されているものではありません。
- ◆ ファンドは、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ◆ 本資料の運用会社へのコンタクトをご希望される場合は、事前に弊社までご連絡をお願いいたします。又、ファンドの詳細情報は、弊社までお問い合わせください。

TP2025073004

Teneo Partners 株式会社（テネオ・パートナーズ）

第一種及び第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第2315号 加入協会：日本証券業協会
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-2 小松ビル3階 Tel：03-4550-2518（代）
E-mail：info@teneopartners.co.jp HP：www.teneopartners.co.jp